電気学会東京支部茨城支所　研究発表会　予稿の書き方

**IBK-xx-xxx**

# How to prepare a manuscript

〇茨城　太郎、日立　次郎　（日立大学）

〇Taro IBARAKI, Jiro HITACHI (Hitachi University)

１．はじめに

これは、電気学会東京支部茨城支所研究発表会用の予稿テンプレートです。原稿執筆時はこのテンプレートの設定を変更せずに使用してください。原稿は原則として pdf 形式の電子ファイルで提出してください。原稿枚数は原則1ページとします。やむを得ず紙面が必要な場合でも最大2ページとしてください。

２．注意点

各ページのフッターを、「令和5年度　電気学会東京支部茨城支所研究発表会 2023/12/2 © 2023 IEE Japan」としてください。ヘッダー中の論文番号は、送付されたメールあるいはホームページで公開されたプログラムよりプログラム番号を採取して記入してください。

３．字体，レイアウト，文字サイズ

本文の日本語はMS P明朝（9pt）、英数字はTimes New Roman（9 pt）、フィギュアキャプションは8 pt、数字と単位の間には半角スペースを入れてください（100 V、20 Ω、など）。ただし、%や°は例外です（90%、60°、10°C、など）。

Ω、μ、π、ωなどのギリシャ文字は、キーボードで「オーム」と入力して変換するのではなく記号と特殊文字のメニューから選択してください。キーボード変換で入力すると，「Ω、μ、π、ω」となり、正しい表記（Ω、μ、π、ω）となりません。

段組は、2カラム（2段組）を基本としてください。

タイトルと氏名には、それぞれの下に英文を併記してください。また、発表者名の前には○を付けてください。所属が大学（大学院を含む）の場合、学部研究科等は記載せず単に（○○大学）としてください。

４．式および図について

数式には次のように、式番号を割り当ててください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | $$A=πr^{2}$$ | (1) |

図表の英文併記は任意です。図はカラーで作成いただいて構いません。

５．参考文献について

文献は本文末尾に通し番号を付けて一括して記載し、本文中の該当箇所に引用番号を付けて下さい。文献を本文中で引用する場合は、参考文献の章の文献番号を上付きで添えてください(1)、(2)。文献の記載方法は、著者名、雑誌名、ページ、発行年の順序にして下さい。

６．著作権について

電気学会東京支部茨城支所研究発表会に投稿された予稿の著作権は、電気学会に譲渡していただきます。このため、「著作権譲渡」についてWEB投稿時に同意願います。

著作権譲渡は以下の「電気学会東京支部茨城支所研究発表会掲載予稿著作権について」を了解したうえで行って下さい。

「電気学会東京支部茨城支所研究発表会掲載予稿著作権について」

１．上記でいう著作権とは、日本国著作権法第21条から第28条に規定するすべての権利をいいます。

(1)他の著作物からの引用にあたっては、著作権上の問題が生じないように十分に注意を払って下さい。

(2)著作権の譲渡を行っても、以下の権利は著者の手元に残るものとします。

①著作権以外の例えば特許権のような権利。

②著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること。

③著者が営利を目的とせずに行う複写（例えば教育資料としての使用）。

④その他、日本の著作権法に反しない利用。

２．掲載された予稿について、第三者より複製あるいは翻訳利用などの申請があった場合、電気学会の責任において対応します。

３．著作権譲渡同意後に当該著作物が掲載されなかった場合は、その時点で著作権譲渡は無効とします。

４．著作物の内容については、その著作者自身が責任を負うものとし、著作物が他人から著作権侵害として提訴され、もしくは当該侵害に関し紛争が生じた場合、あるいは他人の名誉を傷つける等の紛争が生じた場合は、原則としてその著作者が責任を負いまたは処置するものとします。

文献

1. L.M. Ker, W. Lilin, and A. Sdeenbach: *IEEE Trans. Power Electron*., vol. 51, no. 1, pp. 664–674, Sep. 2003.
2. 田中彰、他：電学論B、111、pp. 1234-5675、2000.